

45 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現

(1) 区民の自主的な活動を尊重した 支援と連携

●町会・自治会の活動支援

区内には251の町会・自治会があり、区政の最大のパートナーとして、幅広く区の事業に協力している。防犯・防災対策、環境保全対策、住民同士の交流など、さまざまな活動を通じて、まちの安全・安心に貢献している。

また、区全体の町会・自治会の連絡調整を図るため、町会連合会がある。町会連合会では、区内の17地域に支部組織を設置し、区との意見交換や町会・自治会同士の情報交換を行っている。

区は、町会・自治会の活動の支援として、加入促進パンフレットの作成、ホームページの運用、活動費の補助、活動保険への加入、公設掲示板等の管理委託(163団体)、会館建設等の建替えや修繕等に対する補助を行っている。

●地域活動団体の支援

区民の自主的な地域活動を支援するため、情報紙「ねりま地域活動ニュース」の発行(毎月1回)、ホームページの運用、団体の活動を紹介するパネル展等を行っている。

また、地域活動団体が集まり、活動の魅力の紹介や団体同士の交流を促進するため、「練馬つながるフェスタ」(来場者約2,000人)を開催している。

●区民協働交流センター

公益的な活動の支援と協働を推進するため、地域活動に関する相談に応じるとともに、活動の場、情報発信・収集の場を提供している。

[利用状況]

・相談数	357件
・情報コーナー利用数	795件
・作業コーナー利用数	3,542件
・交流コーナー利用者数	19,176人

●相談情報ひろば

身近な地域の日常生活上の相談窓口、地域情報などの提供、住民同士の交流の場として、11か所で開設している。NPOや社会福祉法人等の地域活動団体が、それぞれ特性を活かして運営しており、区が補助を行っている。

●地域情報コーナー

町会・自治会や地域活動団体のイベント情報の受発信の場として、地区区民館、地域集会所等17か所に地域情報コーナーを設置している(利用件数529件)。

●地域おこしプロジェクト

区民の自由な発想で、未来の練馬の発展につながる事業を区内で活動する団体から公募し、区との協働により実施する。29年度は、①都市農業の魅力創造～味(ビ)ストロ練馬～(団体名: Nerima 若手 ChefsClub)、②地域共生社会の高齢者支援におけるコンビニエンスストアとの協働モデルの構築(団体名: ねりまコンビニ協働プロジェクト)、③ダイバーシティ発信基地I(アイ)LDK(団体名: NPO法人障がい児・者の学びを保障する会)の3事業が選定された。

補助金交付のほか、庁内公募した若手職員をプロジェクトごとに推進担当職員として配置し、区民と区が協働しながら事業に取り組んでいる。

●区民協働のあり方検討会議

区政の根幹に据えた「区民参加と協働」を推進するため、29年4月に公募区民や学識経験者などで構成する区民協働のあり方検討会議を設置した。29年度は、会議を6回開催し、区民参加と協働の区政推進に向けた課題等について検討を行い、29年12月に公表した「グランドデザイン構想(素案)」の策定に向けた提言を行った。

●地区祭補助事業

青少年育成地区委員会、町会・自治会等地域のさまざまな団体を母体として組織された地区祭実行委員会に対して補助を行っている。

29年度に補助を行った地区祭は14地区25会場で、58,660人が参加した。

(2) 地域活動を支える機会・場の充実を行う

●活動と交流の場の提供

1 地区区民館

地域住民の相互交流や自主活動を促進し、子どもから高齢者までが利用できる施設として、現在22館を開設している。

運営は、区民参加と協働の観点から、地域住民で構

【地区区民館利用状況】

(単位：延べ人) 29年度

施設名	個人利用						団体利用	計
	児童利用	高齢者利用	一般利用	学童クラブ	ぴよぴよ	個人利用計		
豊玉北	14,953	6,327	53	9,708	—	31,041	25,742	56,783
桜台	21,270	3,569	460	10,642	—	35,941	64,096	100,037
貫井	24,717	5,626	271	11,321	—	41,935	71,793	113,728
氷川台	27,642	4,758	459	9,430	—	42,289	42,438	84,727
早宮	14,111	4,782	246	—	—	19,139	32,812	51,951
春日町南	27,404	9,078	3,049	—	15,415	54,946	38,111	93,057
高松	12,050	1,324	390	3,731	—	17,495	12,859	30,354
北町	14,673	3,279	1,553	—	—	19,505	36,760	56,265
北町第二	13,218	4,026	321	—	—	17,565	40,955	58,520
田柄	16,179	6,034	1,503	8,085	7,327	39,128	43,710	82,838
光が丘(※1, 3)	8,511	3,525	999	—	—	13,035	43,071	56,106
旭町南(※2, 3)	15,472	17,724	24,354	—	—	57,550	80,982	138,532
旭町北	11,922	4,371	52	—	—	16,345	36,093	52,438
富士見台	16,793	6,868	625	—	—	24,286	40,726	65,012
下石神井	12,946	2,083	1,641	10,336	—	27,006	35,646	62,652
立野	6,679	2,522	213	—	10,049	19,463	46,121	65,584
関町北	24,669	3,534	1,048	8,552	—	37,803	58,797	96,600
東大泉	19,972	4,281	1,428	8,589	—	34,270	75,694	109,964
西大泉	18,362	4,835	611	7,898	—	31,706	55,732	87,438
南大泉	13,113	5,042	2,185	—	—	20,340	62,839	83,179
北大泉	13,314	5,694	621	5,792	—	25,421	41,413	66,834
大泉学園	17,394	3,442	786	9,411	—	31,033	25,476	56,509
計	365,364	112,724	42,868	103,495	32,791	657,242	1,011,866	1,669,108

※1：光が丘地区区民館は、29年12月から30年3月まで工事のため休館

※2：旭町南地区区民館は、29年11月・12月は工事のため休館

※3：旭町南地区区民館の一般利用・団体利用の数値と光が丘地区区民館の団体利用の数値は、特別施設利用者数を含む

成する運営委員会に委託している。12年度から夜間・土・日曜・祝休日を、18年度から平日昼間の運営を順次委託し、24年度までに全ての館において昼間委託を実施した。

地区区民館の各種事業については、館だよりやホームページ等で情報発信している。

なお、地区区民館の利用状況は、上の表のとおりである。

2 地域集会所

地域住民の相互交流および自主的活動の場を提供する身近な集会所である。21年度からは出張所併設の区民館を地域集会所に移行し、29年3月までに27か所を開設した。29年4月に練馬高野台駅前地域集会所、同年8月に豊玉地域集会所を開設し、29か所となった。

運営は、設置当初から、地域住民で構成する管理運営委員会に委託している。また、区民館から移行した地域集会所については、事業者運営を委託している。

なお、地域集会所の利用状況は、右の表のとおりである。

【地域集会所利用状況】

29年度

施設名	利用件数(件)	利用者数(延べ人)
石神井台	2,404	24,327
上石神井北	2,685	14,865
南田中	1,740	14,942
谷原	1,431	19,153
旭丘	2,385	23,726
中村	2,872	31,722
向山	2,900	12,640
土支田	2,896	16,852
大泉町	2,080	10,975
高野台	3,713	23,421
大泉学園町	1,775	11,442
三原台	2,365	16,467
北町	1,762	10,908
東大泉	2,668	16,607
小竹	2,182	16,259
石神井台みどり	2,604	16,545
関町	2,641	17,409
桜台	3,879	19,323
早宮	2,635	19,838
春日町	2,332	19,522
土支田中央	1,982	20,422
旭町	708	4,847
田柄	1,646	18,489
上石神井南	3,342	29,323
東大泉中央	3,151	19,678
南大泉	1,928	16,954
大泉北	1,602	12,362
練馬高野台駅前	942	11,069
豊玉(※)	768	7,130
計	66,018	497,217

※：29年8月に開設

3 区民ホール（光が丘、関）

区民文化の向上および区民相互の交流を図り、地域社会の健全な発展と福祉の増進に寄与することを目的とした施設である。管理運営は指定管理者に委託している。

なお、光が丘区民センター内の心身障害者福祉集会所は、心身障害者団体優先の施設であるが、空きがある場合は一般区民も利用できる。また、はつらつセンター光が丘および光が丘なかよし児童館については、本来利用のない夜間・日曜・祝休日にも一般区民が利用できる。

〔光が丘区民ホール等の利用状況〕

29年度

施設名	利用状況	
	利用件数(件)	利用者数(人)
光が丘区民ホール		
多目的ホール	917	41,842
集会室(1)	695	7,174
集会室(2)	680	9,114
集会室(1・2)(※1)	196	4,783
音楽室	700	12,260
美術工芸室	414	3,877
和室	260	2,220
会議室(1)(※2)	—	—
会議室(2)	857	10,395
小計	4,719	91,665
心身障害者福祉集会所(※3)	3,049	96,798
はつらつセンター光が丘(※4)	71	985
光が丘なかよし児童館(※5)	10	115
計	7,849	189,563

※1：集会室(1)(2)を合わせて使用

※2：会議室(1)は個人番号カード光が丘交付窓口として使用

※3：心身障害者団体以外の利用件数

※4：平日午後5時30分以降と日曜・祝休日(敬老の日を除く。)の利用件数

※5：日曜・祝休日午後5時30分以降の利用件数

〔関区民ホール等の利用状況〕

29年度

施設名	利用状況	
	利用件数(件)	利用者数(人)
関区民ホール		
多目的ホール(※1)	504	23,713
リハーサル室	636	7,504
小計	1,140	31,217
はつらつセンター関(※2)	368	4,100
計	1,508	35,317

※1：29年10月から12月まで工事のため使用不可

※2：平日午後5時30分以降と日曜・祝休日(敬老の日を除く。)の利用件数

4 地域活動倉庫

良好な地域社会の維持および形成に資する地域活動を支援するため、町会・自治会、商店会等が利用できる地域活動倉庫37区画(大1区画、中26区画、小10区画)を関越自動車道高架下に設置している。

5 地域交流ひろば

地域住民および地域団体の交流の推進を図るため、

関越自動車道高架下に設置している。イベントなど多目的に利用できるひろば(400㎡×2面)があり、個人利用、貸切り利用(要予約)をすることができる。

〔地域交流ひろば利用状況〕

年度	個人利用(人)	団体利用	
		件数(件)	人数(人)
29	8,785	4	500

●区役所会議室の活用

区役所の会議室を区民相互交流の場として提供している。区内在住・在勤・在学者の団体が行う会議・研修会・講演会等に利用され、29年度は延べ1,213件の利用があった。

●指定保養施設助成事業

区民の健康増進と旅行を通じた交流、親睦を目的として、民間のホテルや旅館等25か所を保養施設に指定し、利用した区民に対し、宿泊料金の一部の補助を行っている。

補助金は年度内2回で、1回の利用につき2泊までを限度とし、利用者1人1泊につき大人3千円、3歳児～小学生2千円を支給している。

また、身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1・2度、精神障害者保健福祉手帳1・2級の方とその介助者には、一定額の補助金割増制度がある。

〔指定保養施設利用実績の推移〕

年度	利用人数(延べ人)	補助額(円)
25	27,630	88,181,322
26	28,136	89,481,439
27	28,031	89,133,049
28	26,465	84,473,547
29	24,526	78,475,626

●指定葬儀場使用料助成事業

区が指定した葬儀場で区民が通夜または葬儀を行った場合に、3万円を上限として会場使用料の一部を助成している。

〔指定葬儀場使用料助成金の推移〕

年度	助成件数(件)	助成金額(円)
25	1,402	41,759,025
26	1,502	44,629,500
27	1,438	42,807,480
28	1,628	48,244,740
29	1,654	48,812,400

(3) 各国文化の相互理解

●文化の相互理解と交流の促進

「文化交流ひろば」を拠点として交流会や各種講座を積極的に開催し、各国文化の相互理解を推進している。また、外国人住民が地域において快適に生活し、区民同士が交流できるような仕組みづくりに努めている。

1 相互理解・交流促進

(1) 外国人住民との交流

国際交流のつどい（11月、1回）、国際交流サロン（原則第4土曜日、8回）をそれぞれ開催した。

(2) 外国語講座

スペイン語講座（9～12月毎週木曜日、12日制）、外国語でよみきかせとてあそび（4～2月、英語5回、韓国語1回）をそれぞれ開催した。

(3) やさしい日本語研修

分かりやすい日本語によるスムーズな意思疎通を目指した研修を、区民と区職員を対象として実施した。

2 外国人住民への支援

(1) 外国語による相談コーナー

毎週月～金曜日の午後、区役所本庁舎に外国語による相談コーナーを設け、区の事業・文化・学習情報の提供や簡単な日常生活上の相談を受けている。（英語・中国語・ハングル・タガログ語 ※ハングルは金曜日、タガログ語は月曜日のみ）

(2) 文化交流ひろば 情報コーナー

平日午前10時～午後1時、土・日・祝休日午後1～4時に、文化交流ひろば（光が丘）に情報コーナーを設け、各種の生活情報を多言語により提供している。（英語：火・木・土、中国語：水・金・日、ハングル：月）

(3) 初級日本語講座

「にほんごのきょうしつ」（4～7月、9～12月2講座）、「こども日本語教室」（原則学校休業期間を除く毎週土曜日）を開催した。

3 ボランティアの登録

区の窓口で日本語を母語としない外国人への通訳を行う通訳・翻訳ボランティアや、日本語講師のボランティアの登録を随時受け付けている。29年度末現在の登録者数は通訳・翻訳ボランティアが195人、日本語講師ボランティアが48人である。

●海外友好都市等との交流

1 北京市^{かいてん}海淀区

年	動き
昭和63年	「都区市町村長訪中団（団長・練馬区長）」が北京市を訪問（交流開始）
平成4年	海淀区長を招き「友好・協力交流に関する合意書」に調印
5年	区民親善訪問団を海淀区へ派遣
14年	・海淀区に桜を寄贈 ・「友好交流10周年記念写真展」開催 ・海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催（友好交流10周年記念） ・区長が海淀区を訪問し「友好・協力交流に関する合意書」に調印
19年	・「練馬区・北京市海淀区友好文化交流展」開催 ・「友好交流15周年記念写真展」開催 ・区議会代表団が海淀区を訪問
20年	海淀区から贈られた記念碑（友好交流15周年・練馬区独立60周年記念）を区役所本庁舎正面玄関に設置
24年	・海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催（友好交流20周年記念） ・練馬区スポーツ交流団（14人）を海淀区へ派遣
28年	北京市青少年キャラバン訪日団が練馬区を訪問、中学生と交流
29年	練馬区独立70周年記念式典参列のため、北京市海淀区代表団が練馬区を訪問

〔北京市海淀区^{いおえん}頤和園〕



ユネスコの世界遺産に登録されている庭園公園

2 イプスウィッチ市

年	動 き
昭和 63 年	練馬区国際交流友好都市提携調査団がオーストラリアを訪問（交流開始）
平成 5 年	区立中学校生徒のイプスウィッチ市への派遣を開始
6 年	イプスウィッチ市長を招き「友好都市提携に関する合意書」に調印
13 年	イプスウィッチ市に友好のシンボル「ネリマガーデン」が開園し、区長、区議会議長が開園式に出席
16 年	区長がイプスウィッチ市を訪問、「友好都市提携 10 周年に関する合意書」に調印
21 年	区長、区議会議員団が「ネリマガーデン」茶室の完成式典に出席（友好都市提携 15 周年）
22 年	練馬区手工芸作家連盟がイプスウィッチ市自治体 150 周年に参加し、展覧会とワークショップ実施
23 年	・洪水により甚大な被害を受けたイプスウィッチ市に対し、区・区議会から義援金送付 ・イプスウィッチ市の小学生から東日本大震災のお見舞いメッセージ付きのぬり絵が届く
24 年	イプスウィッチ市長と友好訪問団が訪問、第 35 回練馬まつりに参加
26 年	・イプスウィッチ市長と友好訪問団が訪問 ・「友好都市提携 20 周年に関する合意書」に調印、石神井松の風文化公園での記念植樹を実施

〔イプスウィッチ市 セントメアリーズカトリック教会〕



市の中心部にある歴史的建造物

3 諸外国との交流

9 年 11 月に練馬区独立 50 周年、フランスにおける日本年などを記念し、フランス・ストラスブール市に桜を寄贈した。10 年 5 月には同市からマロニエの苗木 100 本が寄贈され、区画街路 3 号線と中村小学校に植樹するなどの交流歴がある。

21 年 4 月にはフランス・アヌシー市とアニメ産業交流協定を締結した。

また、29 年度は、モンゴルと韓国等からの視察団を受け入れた。

4 海外友好都市等紹介事業

(1) 海外友好都市紹介講座

30 年 1 月 27 日に、「友好都市ミニコンサート～オーストラリアのディジュリドゥ、中国の二胡で奏でる音楽の架け橋～」を開催した。

(2) 海外友好都市パネル展

区と海淀区およびイプスウィッチ市の交流につ

いて、パネルや写真等による紹介展示を区役所本庁舎アトリウムで行った。(29 年 7 月、30 年 1 月)

(3) 友好都市紹介ケースの常設展示

海外友好都市紹介およびアニメ産業交流を結んでいるフランス・アヌシー市の展示ケースを区役所本庁舎アトリウムに常設している。

(4) ハワリンバヤル（モンゴルの春まつり）出展

29 年 5 月 3～4 日に光が丘公園で、区の国際・都市交流事業を紹介する展示を行った。

5 ホームステイ・ホームビジット

ホームステイなどの希望者を受け入れるホストファミリー（ボランティア）を随時募集している。29 年度末現在ボランティア登録数は 107 世帯である。

6 外国語版区紹介冊子の作成

29 年 7 月に、海外の都市に向けて区の特徴や施策などを紹介する外国語版区紹介冊子を作成した。



〔外国語版区紹介冊子〕

7 国内都市（長野県上田市）との交流

昭和 55 年に長野県武石村（現上田市）に武石少年自然の家を開設したことから交流が始まり、平成 6 年に「友好提携に関する合意書」の調印を行った。その後、18 年の市町村合併により、上田市となったことから、同年 8 月に改めて「友好提携に関する合意書」の調印を行った。

上田市とは、照姫まつりや練馬まつりで物産の展示・販売による交流を行っている。

29 年の交流実績は、つぎのとおりである。

(1) 上田市民ツアーの受入れ（29 年 10 月 15 日）

(2) 区内で行われたイベントにおいて、上田市のひょう害を受けたりんごの販売を支援（29 年 9 月～30 年 1 月）

(3) 友好都市紹介講座「上田市担当者が語る、大河ドラマ「真田丸」の舞台裏！～信州上田の魅力～」の開催（30 年 1 月 19 日）